



この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。



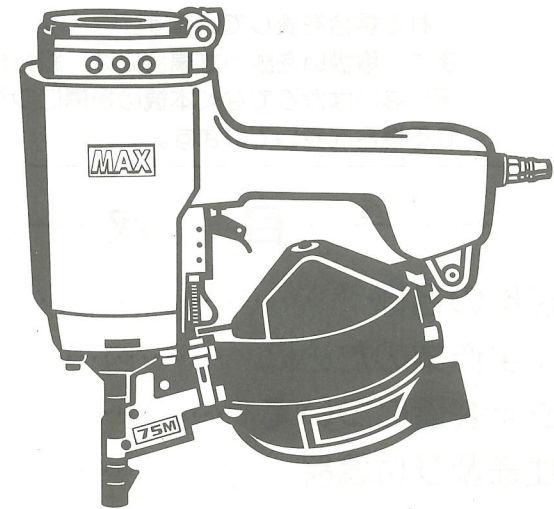
本社・営業本部	〒103-8502	中央区日本橋箱崎町6-6	TEL(03)3669-8121(代)
東京支店	〒103-8502	中央区日本橋箱崎町6-6	TEL(03)3669-8118(代)
札幌支店	〒060-0041	札幌市中央区大通東6-12-8	TEL(011)261-7141(代)
仙台支店	〒984-0002	仙台市若林区卸町東2-1-29	TEL(022)236-4121(代)
名古屋支店	〒461-0025	名古屋市東区徳川1-11-23	TEL(052)935-8531(代)
大阪支店	〒553-0004	大阪市福島区玉川1-3-18	TEL(06)444-2031(代)
広島支店	〒733-0035	広島市西区南観音7-11-24	TEL(082)291-6331(代)
福岡支店	〒812-0006	福岡市博多区上牟田1-5-1	TEL(092)411-5416(代)
盛岡営業所	〒020-0865	盛岡市仙北町下野18-1	TEL(019)635-5575(代)
宇都宮営業所	〒321-0933	宇都宮市築瀬町2313	TEL(028)636-3012(代)
柏営業所	〒277-0871	柏市若柴297-12	TEL(0471)32-1500(代)
多摩営業所	〒190-0022	立川市錦町5-17-19	TEL(042)528-3051(代)
川崎営業所	〒213-0032	川崎市高津区久地597-1セブンエスタート久地1F	TEL(044)844-4700(代)
浜松営業所	〒433-8117	浜松市高丘東2-22-15	TEL(053)439-3300(代)
岐阜営業所	〒501-6016	羽島郡岐南町徳田4-274	TEL(058)276-6551(代)
泉州営業所	〒596-0825	岸和田市土生町2-30-39	TEL(0724)36-2211(代)
神戸営業所	〒658-0081	神戸市東灘区田中町3-3-3	TEL(078)412-6220(代)
北九州営業所	〒802-0061	北九州市小倉北区三朗丸3-6-20久野ビル1F	TEL(093)931-3733(代)
南九州営業所	〒891-0115	鹿児島市東開町3-24	TEL(099)269-5347(代)
新潟マックス(株)	〒955-0081	三条市東裏館2-14-28	TEL(0256)34-2112(代)
水戸マックス(株)	〒310-0043	水戸市松ヶ丘2-3-27	TEL(029)255-3761(代)
群馬マックス(株)	〒379-2215	佐波郡赤堀町大字今井543-2	TEL(0270)62-1123(代)
埼玉マックス(株)	〒331-0044	大宮市日進町3-421	TEL(048)651-5341(代)
千葉マックス(株)	〒284-0001	四街道市大日1870-1	TEL(043)422-7400(代)
横浜マックス(株)	〒241-0822	横浜市旭区さちが丘7-6	TEL(045)364-5661(代)
長野マックス(株)	〒390-0847	松本市笹部1-6-25	TEL(0263)26-4377(代)
長野営業所	〒381-2247	長野市青木島1-35-1	TEL(0262)85-6740(代)
静岡マックス(株)	〒422-8036	静岡市敷地1-3-26	TEL(054)237-6116(代)
金沢マックス(株)	〒921-8061	金沢市森戸2-15	TEL(0762)40-1871(代)
富山営業所	〒930-0827	富山市上飯野字樋向割10-8	TEL(0764)52-0182(代)
福井営業所	〒918-8237	福井市和田東2-1711	TEL(0776)27-3378(代)
京滋マックス(株)	〒612-8414	京都市伏見区竹田段ノ川原町9	TEL(075)645-5061(代)
兵庫マックス(株)	〒673-0404	三木市大村高柳109-1	TEL(0794)83-2121(代)
岡山マックス(株)	〒700-0971	岡山市野田3-23-28	TEL(086)246-9516(代)
四国マックス(株)	〒761-8056	高松市上天神町761-3	TEL(0878)66-5599(代)
徳島営業所	〒770-0866	徳島市末広1-4-25	TEL(0886)23-0286(代)
松山営業所	〒790-0951	松山市天山町28-1	TEL(089)913-0608(代)
マックスサービス(株)本社	〒330-0038	埼玉県大宮市宮原町2-99-5	TEL(048)667-6448(代)
マックスサービス(株)大阪	〒553-0004	大阪市福島区玉川1-3-18	TEL(06)446-0815(代)
マックスサービス(株)名古屋	〒461-0025	名古屋市東区徳川1-11-23	TEL(052)935-8210(代)
マックスサービス(株)福岡	〒812-0006	福岡市博多区上牟田1-5-1	TEL(092)451-6430(代)
マックスサービス(株)広島	〒733-0035	広島市西区南観音7-11-24	TEL(082)291-5670(代)
マックスサービス(株)仙台	〒984-0002	仙台市若林区卸町東2-1-29	TEL(022)237-0778(代)
マックスサービス(株)札幌	〒060-0041	札幌市中央区大通東6-12-8	TEL(011)231-6487(代)

●マックスお客様ご相談ダイヤル(無料) 0120-22-8358  
月～金曜日 午前9時～午後6時

●住所、電話番号などは都合により変更になる場合があります。

# マックス釘打機コイルネイラ CN-75M/NA65W4 CN-75C/NC50W4 CN-75CII/NC50W4

## 取扱説明書



### 警告

- 使用前に必ず取扱説明書を読む。
- 使用の際は、作業者およびまわりの人も必ず保護メガネを着用する。
- 安全装置が完全に作動するか使用前に必ず点検する。正常に作動しない場合は使用しない。
- 打つ時以外は絶対にトリガに指をかけない。
- 射出口を絶対に人体に向けない。
- 移動する時、使用しない時、調整・修理・ネイル装填の時は必ずエアホースをはずす。
- エアコンプレッサ以外の動力源は絶対に使用しない。
- 揮発性可燃物のそばで絶対に使用しない。
- 異常を感じたら絶対に使用しない。

- この取扱説明書は常時内容が確認できるよう保管してください。
- 本機の仕様は機能向上のため、予告なしに変更することがあります。



このたびは、マックス釘打機コイルネイラをお買い上げいただきましてありがとうございます。本機の取扱いにあたって、この取扱説明書を最後までよくお読みください。使用上の注意事項、使用方法、能力などについて十分ご理解の上、安全に適切にご使用くださるようお願いいたします。

⚠ 警告：この表示は、取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。

⚠ 注意：この表示は取扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。

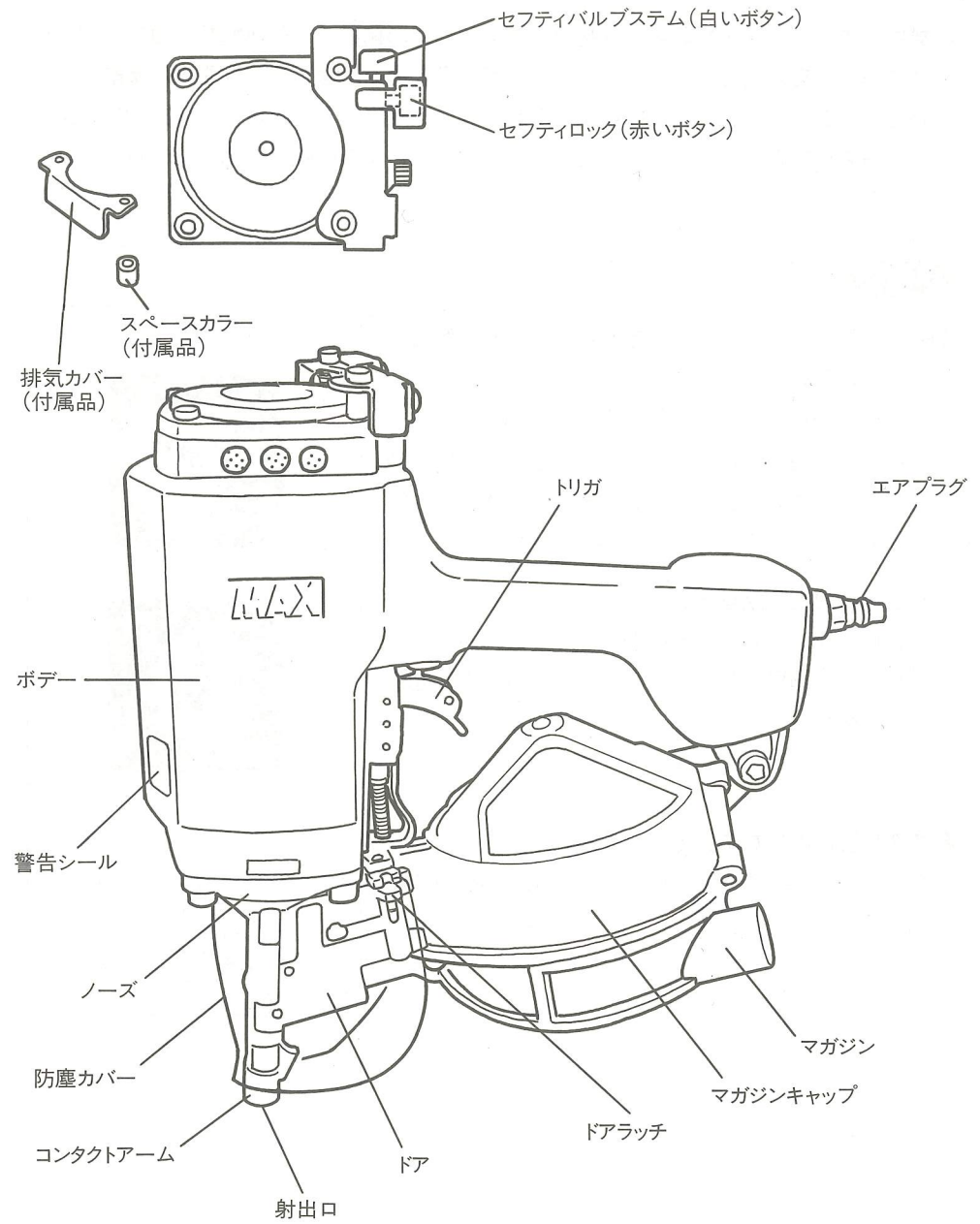
また、取扱いを誤った場合には、釘打機本来の性能を発揮しないばかりでなく本機の損傷につながる事が想定される場合を表しています。

## 目次

1. 各部の名称	1
2. 安全作業のために	2
3. 安全装置について	10
4. 仕様及び付属品	12
5. 使用方法	14
6. 用途とネイル選定基準	21
7. 配管についての注意	24
8. エアホースの接続	25
9. 使用空気圧と打込状態の確認	26
10. ネイルづまりの直し方	27
11. 性能を維持するために	28
12. カラ打ち時の確認事項	29

全国販売拠点、サービス拠点一覧

# 1 各部の名称





## 2 ⚠ 警告 安全作業のために

本機は、木材またはそれに類した材料を木材や軽量形鋼(2.3~3.2mm厚)、コンクリートに止めることを目的とした釘打機です。指定以外の用途、使用方法は重大な事故につながる恐れがあります。この取扱説明書の記載事項を厳守してください。作業関係者以外、特に子供は作業場所に近づけないでください。また、本機に触らせないでください。

### 作業前

①使用の際は、作業者およびまわりの人も必ず保護メガネを着用する。

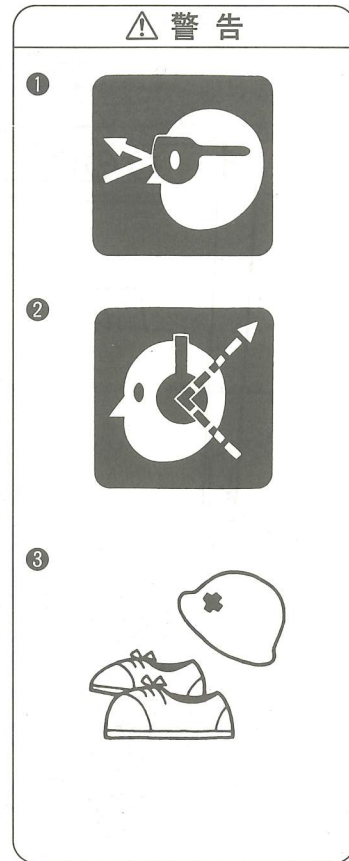
釘打作業をする時、ネイルを連結しているワイヤが飛んだり、打ち損じのネイルがはね返り、眼に入ると失明する恐れがあります。作業する本人はもとよりまわりの人も必ず保護メガネを着用してください

②防音保護具を着用する。

釘打作業をする時、排気音や排気エアから耳を守るため、作業環境に応じて防音保護具(耳栓等)を着用してください。

③作業環境に応じた防具を着用する。

作業環境に応じてヘルメット、安全靴等の防具を着用してください。



## 2 ⚠ 警告 安全作業のために

④エアホース接続前に必ず点検する。

エアホースを接続する前に下記の点検を必ず行ってください。

1. ネジの締め付けが緩んでいたり、抜けていないか。
2. 各部部品が外れていたり、傷んでいないか。
3. コンタクトアームがスムーズに動くか。

不完全なまま使うと、事故や破損の原因となります。異常のある場合は、お買い求めの販売店又はマックスサービス㈱へ点検・修理に出してください。

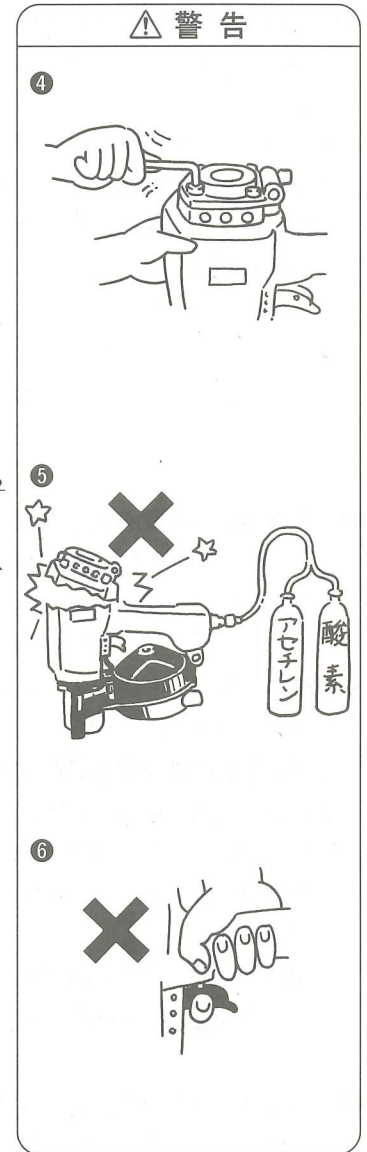
⑤エアコンプレッサ以外の動力源は絶対に使用しない。

本機はエアコンプレッサによる圧縮空気を動力源とする工具です。圧縮空気以外の高圧ガス(例:酸素、アセチレン等)を使うと異常燃焼をおこし爆発の危険を伴いますので、エアコンプレッサ以外は絶対に使用しないでください。

⑥エアホース接続の時には必ず厳守する。

エアホースを接続するときは誤って作動させないよう下記のことを必ず守ってください。

1. トリガに指をかけない。
2. コンタクトアームに触れない。
3. コンタクトアームを押し上げた状態にしない。
4. 射出口を人体に向けない。



## ⑦エアホース接続時には必ず確認する。

使用前にはネイルを装填しないでエアホースを本機に接続し下記の確認を必ず行ってください。

1. エアホースを接続しただけで作動音がしないか。
2. エアもれや異常音がしないか。

エアホースを接続しただけで作動したり、エアもれや異常音がする場合は故障しています。そのまま使うと事故の原因となりますので、絶対に使用しないでください。異常のある場合はお買い求めの販売店又はマックスサービス(株)に点検・修理に出してください。

## ⑧安全装置が完全に作動するか使用前に必ず点検する。正常に作動しない場合は使用しない。

使用前には必ず安全装置が完全に作動するか、確認してください。ネイルを装填しないでエアホースを接続し、セフティバルブシステムを押して確認してください。(10ページ参照)

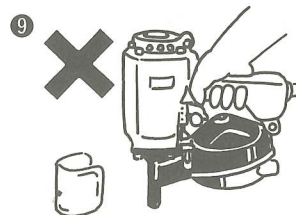
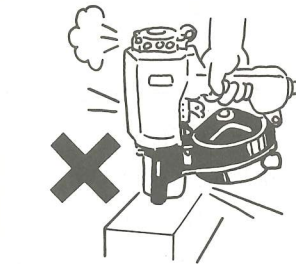
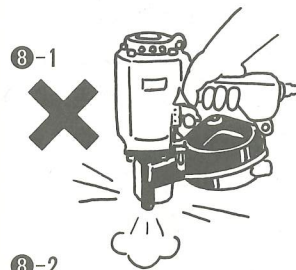
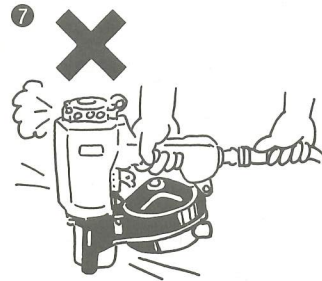
## ※下記の場合には安全装置が故障していますから本機を絶対に使用しないでください。

1. トリガを引いただけで、作動音がする。
  2. コンタクトアームを対象物に当てただけで、作動音がする。
- 異常のある場合はお買い求めの販売店又はマックスサービス(株)に点検・修理に出してください。

## ⑨防塵カバーは絶対にはずさない。

釘打作業をする時、対象部材が硬すぎたり、本機の打込能力以上ですとネイルを連結しているワイヤが打ち込まれず飛散する場合がありますので、防塵カバーは絶対にはずさないでください。また、傷んだら交換してください。

## ⚠ 警告



## ⑩指定ネイルを必ず使用する。

指定されたネイルと異なるものを使用すると本機の故障や事故の原因となりますので、必ず指定のネイルをご使用ください。(13ページ参照)

## ⑪作業場所を常に整理する。

作業場所が乱雑だとつまづくなどして思わぬ事故の原因となります。作業場所は常に整理整頓をして安定した姿勢で作業を行ってください。

## 作業中

## ①使用空気圧を必ず守る。

本機の使用空気圧範囲は4.5~7kgf/cm<sup>2</sup>(0.44~0.69MPa)です。対象物によりその範囲内で調整し使用してください。7kgf/cm<sup>2</sup>(0.69MPa)を超えた圧力で使用すると本機の寿命を早めたり損傷によって危険を生じる恐れがあります。

## ②打つ時以外は絶対にトリガに指をかけない。

トリガに指をかけたまま本機を取り回し、誤って発射した場合は思いがけない事故につながります。ネイルを打つ時以外は絶対にトリガに指をかけないでください。

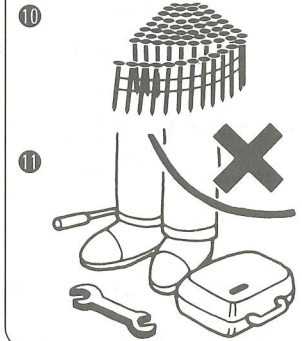
## ③射出口を絶対に人体に向けない。

射出口を人に向け、誤って発射した場合には思いがけない事故につながります。また、射出口付近に手足等を近づけての作業は危険ですからさけてください。同時に打ち損じたネイルが人に当たらないよう作業中はまわりの人に注意をはらってください。

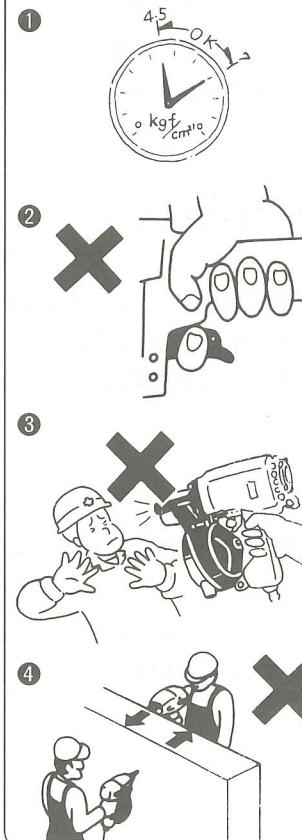
## ④向い合わせの釘打ちは絶対にしない。

向い合って釘打作業をすると、打ち損じたネイルが前の作業者にあたり、思わぬ怪我をすることがありますので、向い合わせの釘打ちは絶対にしないでください。

## ⚠ 警告



## ⚠ 警告

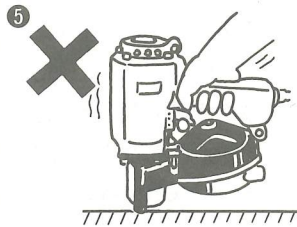




## ⑤ 射出口を確実に対象物に当てる。

射出口を確実に対象物に当てないと、一度打ったネイルや木の節などに当たった場合ネイルがはねたり、それたりして大変危険です。また、本機が強く反発することもあり危険ですから、射出口を確実に対象物に当ててください。

## ⚠ 警告



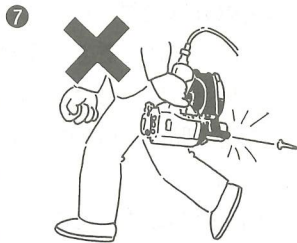
## ⑥ 揮発性可燃物のそばで絶対に使用しない。

本機やエアコンプレッサを揮発性可燃物（例：シンナー、ガソリン等）のそばで使うとネイル打込時の火花による引火や、空気といっしょに吸入圧縮され、爆発の危険を伴いますので、揮発性可燃物のそばでは絶対に使用しないでください。



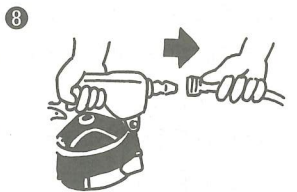
## ⑦ 移動する際は、必ずエアホースをはずす。

エアホースを接続した状態でトリガを引いたまま本機を持ち歩いたり、手渡し等をし、誤って発射した場合には思いがけない事故につながります。移動する際は、必ずエアホースをはずしてください。



## ⑧ 作業中断時は必ずエアホースをはずす。

作業中のネイル装填、調整及びネイルづまりを直すときは誤ってネイルを発射すると危険ですから、必ずエアホースをはずしてください。



## ⑨ 異常を感じたら絶対に使用しない。

作業中に本機の調子が悪かったり、異常を感じたら、ただちに使用を中止してください。異常のある場合はお買い求めの販売店又はマックスサービス欄に点検・修理に出してください。

## ⚠ 警告

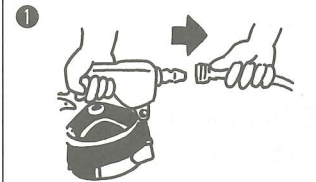


## 作業後

## ① 作業終了時には必ずエアホースをはずす。

作業終了時には、必ずエアホースをはずしてください。

## ⚠ 警告



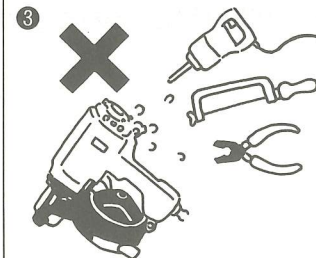
## ② 作業終了時には必ずネイルを抜き取る。

ネイルをマガジン内に残しておく、次に使用するとうっかり手を触れたり、誤って作動させた場合、思わぬ事故につながる可能性があります。作業終了時には必ずマガジン内のネイルを抜きとってください。



## ③ 本機を絶対に改造しない。

本機を改造すると、本来の性能が発揮できないばかりでなく安全性が損なわれますので、絶対に行わないでください。



## 屋外作業について

## ①足場の安全性を十分に確認する。

足場を使っての高所作業の場合、釘打作業中に落ちることのないように充分足場の安全性を確認してください。

## ②エアホースの確保。

高所作業の場合、エアホースは作業場所の近くに必ず固定箇所を作ってください。これは不用意にホースが引っぱられたり、引っかかったりしたときの危険を防ぐためです。また、ホースのたるみやねじれないように注意してください。

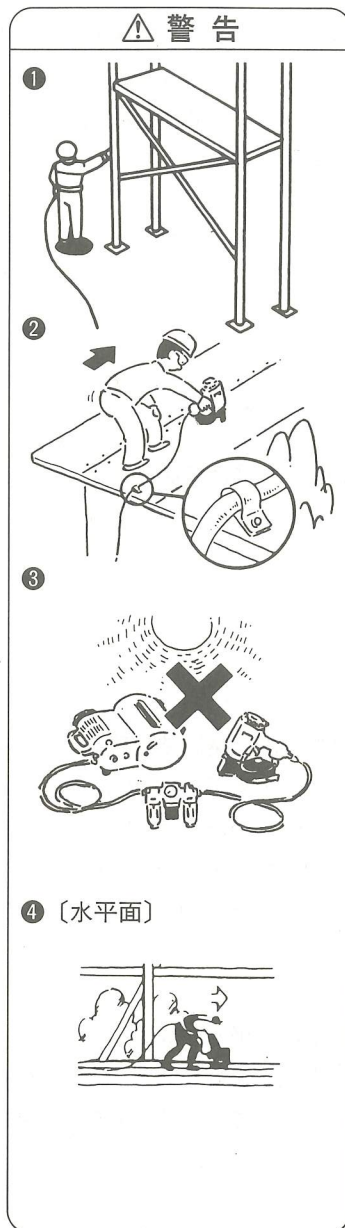
## ③直射日光をさける。

本機やエアセット、エアコンプレッサは直射日光に長時間あてたまま放置しないでください。また、エアコンプレッサはできるだけ日陰に設置して使用してください。

## 打ち方

## ④水平面の釘打ち

前進姿勢で釘打作業を行ってください。安全で疲労が少なく、正確で速い作業ができます。後退しながらの作業は足をとられるなど危険です。



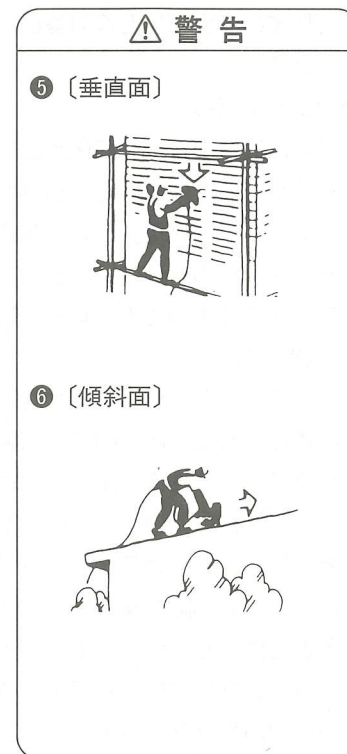
## ⑤垂直面の釘打ち

本機を手の届く最も高いところまで差し上げ、上から順に下へ釘打作業を行ってください。疲労の少ない作業ができます。

※内、外壁の同時打ちは絶対にしないでください。

## ⑥傾斜面の釘打ち

下から上に向かって前進姿勢で釘打作業を行ってください。上から下に後退すると足を踏みはずす危険があります。





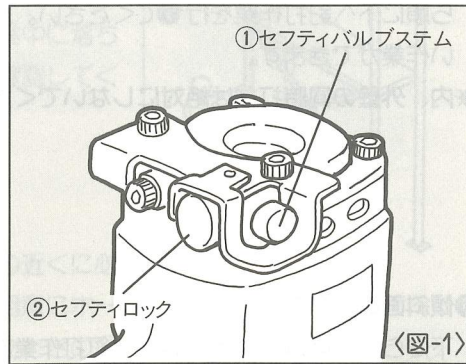
### 3 安全装置について

釘打作業の安全と仕上りの美しさを確保するため、本機には次のような安全装置がっています。

#### ●セフティバルブ

本機には、より安全に作業していただくためにセフティバルブを装備しています。セフティバルブとは、作業を開始するとき、作業をしないときに本機の使用者の意志によってエア回路の開閉を行う装置です。

エアホースを接続しただけではエア回路は遮断されていますので、本機を作動させることはできません。エアホースを接続した後、セフティバルブシステム（白いボタン）①を押し、ロックするとエアが流れ本機を作動させることができます。作業の中断の場合には、セフティロック（赤いボタン）②を押すとセフティバルブシステムがもどり、エア回路を遮断し、本機を作動させることができなくなります。作業を再開するときは、セフティバルブシステム①を押して作業を再開してください。また、エアホースをはずしますとセフティバルブシステム①がもどります。作業を再開するときはセフティバルブシステム①を押して作業を再開してください。



〈図-1〉

#### ⚠ 警告

●セフティバルブが完全に作動するか使用前に必ず点検する。正常に作動しない場合は使用しない。

使用前には必ずセフティバルブが完全に作動するか、確認してください。ネイルを装填しないでエアホースを接続して確認してください。

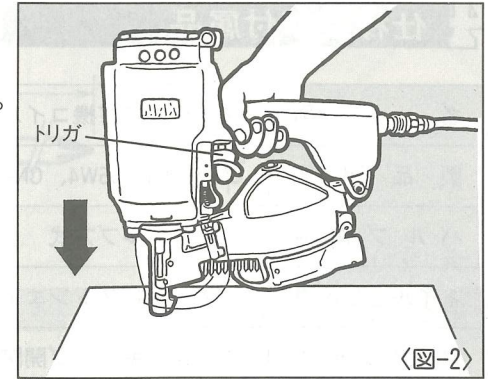
※下記の場合にはセフティバルブが故障していますから本機を絶対に使用しないでください。

1. エアホースを接続し、セフティバルブシステムを指で押してもロックしない。
2. エアホースをはずしてもセフティバルブがもどらない。
3. セフティバルブシステムがロックされている時、セフティロックを指で押してもセフティバルブシステムがもどらない。

異常のある場合はお買い求めの販売店又はマックスサービス㈱に点検・修理に出してください。

#### ●メカニカル安全装置（DSバルブ）

これはコンタクトアーム、トリガの順に作動しないと発射しないメカニズムです。つまりトリガを引いただけではネイルは発射せず、また、コンタクトアームを打込対象物に当てただけでもネイルは発射しません。コンタクトアームを対象物に当てた後にトリガを引くという動作を行なってはじめてネイルは発射されます。



〈図-2〉

#### ⚠ 警告

●安全装置が完全に作動するか使用前に必ず点検する。正常に作動しない場合は使用しない。

使用前には必ず安全装置が完全に作動するか、確認してください。ネイルを装填しないでエアホースを接続して確認してください。

※下記の場合には安全装置が故障していますから本機を絶対に使用しないでください。

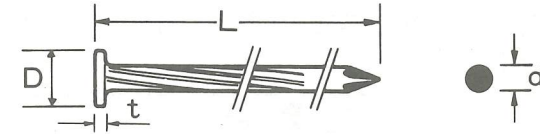
1. トリガを引いただけで、作動音がる。
2. コンタクトアームを打込対象物に当てただけで、作動音がる。

異常のある場合はお買い求めの販売店又はマックスサービス㈱に点検・修理に出してください。

# 4 仕様及び付属品

名 称	マックス釘打機コイルネイラ
製 品 記 号	CN-75M/NA65W4、CN-75C/NC50W4、CN-75CII/NC50W4
バルブ機構	ヘッドバルブ方式
ネイル送り機構	フィードピストンエア送り方式
マガジン形式	マガジンキャップ開閉方式
寸 法	(H) 325× (W) 130× (L) 325mm
重 量	4.5kg
ネイル装填数	200本～300本
使用空気圧範囲	4.5～7kgf/cm <sup>2</sup> (0.44～0.69MPa)
使用ホース	内径8.5mm以上、長さ30m以内
使用オイル	タービン油I種ISO VG32 (JIS1号90番)
安全装置	メカニカル方式、セフティバルブ
付 属 品	保護メガネ、ジェットオイラ (油入)、六角棒スパナ6 排気カバー、トルクパイプ、補助グリップ、スペースカラーB

## <使用ネイル>



(単位：mm)

75M	75C 75CII	用途	ネイル名	L	D	t	d	先端形状	胴部形状	1巻ネイル装填数			
○	○	鋼 板 用	NA32W4-H(ユニクロ)	32	7.2	1.5	3.4	ダイヤモンド ポイント	特殊 スクリュー	250本			
○	○		NA38W4-H(ユニクロ)	38						200本			
○	○		NA50W4-H(ユニクロ)	50						250本			
○	○		NA65W4-H(ユニクロ)	65						200本			
○	◎	コン クリ ート 用	NC27W4-H(コンクリート)	27	7.4	1.5	3.4	ダイヤモンド ポイント	特殊 スクリュー	250本			
○	◎		NC32W4-H(コンクリート)	32						250本			
○	◎		NC38W4-H(コンクリート)	38						250本			
○	◎		NC50W4-H(コンクリート)	50						250本			
○	○	木 造 軀 体 用	NC50V5	50	6.0	1.07	2.5	チゼルポイント	スムース	300本			
○	○		NC57V5	57						250本			
○	○		NC65V5	65						200本			
○	○		NC50V9	50	7.0					2.9	チゼルポイント	スムース	250本
○	○		NC57V9	57									250本
○	○		NC65V9	65									200本
○	○		NC75WI	75	7.0					3.1	チゼルポイント	スムース	250本
○	○		NS50V9-C	50									250本
○	○		NS57V9-C	57									250本
○	○	NS65V9-S	65	7.0	3.1	チゼルポイント	スムース	250本					
○	○	NS65WI-C	65					200本					
○	○	NS75WI-C	75					200本					



## 5 使用方法

使用前に本機とエアコンプレッサを接続しないで使い方を覚えてください。

### 【ネイルの装填方法】

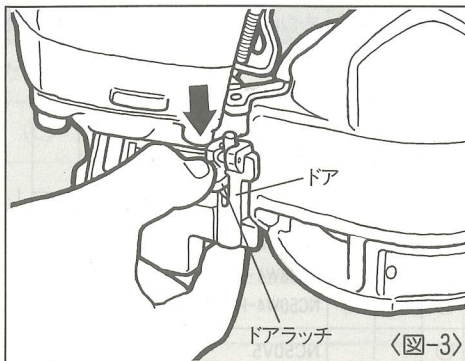
#### ⚠ 警告

- ネイルを装填するときは、必ずエアホースをはずす。

#### 手順

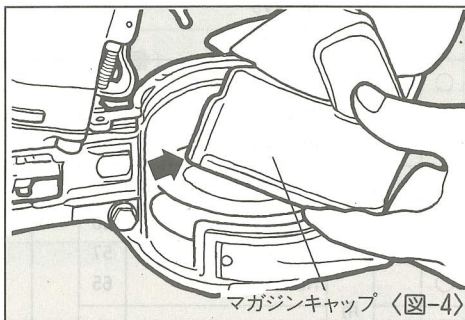
- ①エアホースをはずします。
- ②ドアとドアラッチに指をかけてドアラッチを下へ押しつけながら左へ開きます。

〈図-3〉

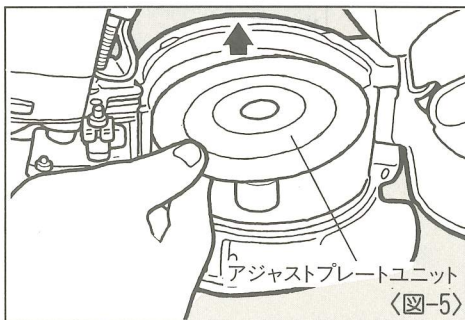


- ③マガジンキャップを右へ軽く回して開きます。

〈図-4〉



- ④マガジンの中に入っているアジャストプレートユニットを抜き取ります。〈図-5〉



- ⑤使用するネイルの長さに合わせてネイルサポートの高さを調整してください。調整はネイルポストを指でつまんで引き上げ、回してセットします。〈図-6〉

#### ⚠ 注意

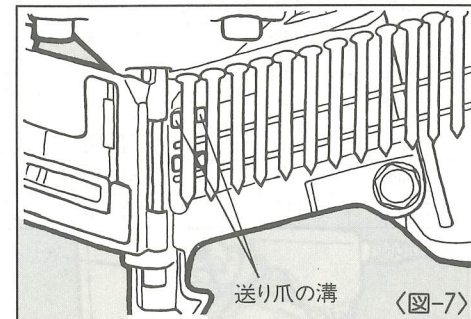
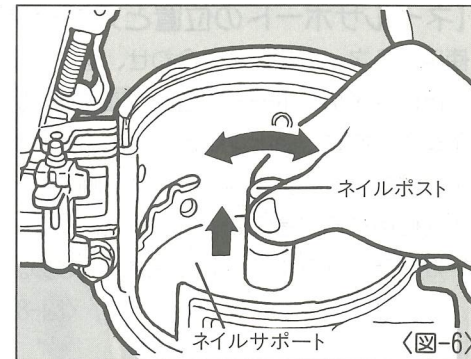
- 使用するネイルの長さに合わせて、必ず適正位置にネイルサポートをセットしてください。不適正な位置で使用するとネイルの送り不良が発生します。

- ⑥ネイルをマガジンに入れ、ネイルを引き出し、送り爪の溝にセットします。

〈図-7〉

- ⑦マガジンキャップを閉じます。

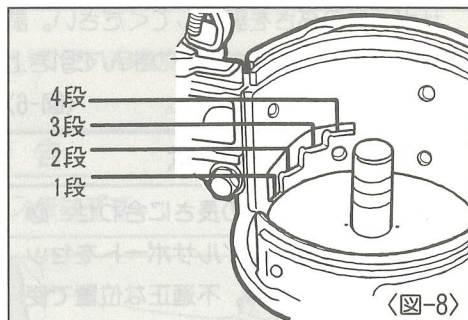
- ⑧ドアとドアラッチに指をかけてドアラッチを上へ押しつけながら右へ回して完全に閉じます。



### 【ネイルサポートの位置とアジャスタプレートについて】

使用するネイルの長さに合わせて、必ず適正位置にネイルサポートを合わせてください。不適正な位置で使用するとネイルの送り不良が発生します。27mm、32mm、38mmのネイルを使用する場合には、アジャスタプレートが必要となりますのでご注意ください。

〈図-8〉

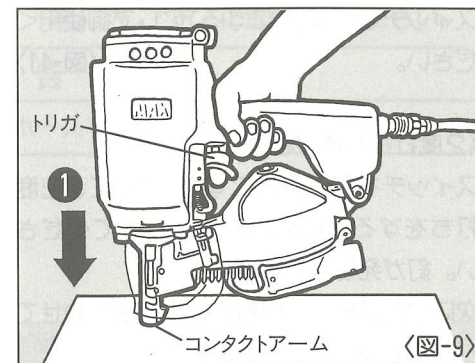


ネイル寸法	高さ位置	アジャスタプレート
27mm	4段	使用
32mm	3段	使用
38mm	2段	使用
50mm	4段	不使用
65mm	2段	不使用
75mm	1段	不使用

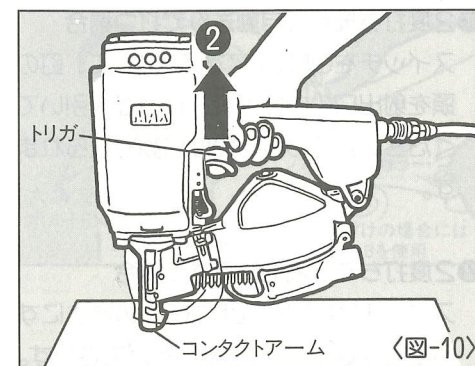
### 【打ち方】

#### 手順

- ① 打とうとする箇所にコンタクトアームの先端を押し当てます。 〈図-9〉



- ② トリガを引きます。 〈図-10〉



- ③ 続けて打つ場合は①②の動作をくり返してください。



## 【2度打ち機構装備のCN-75C II / NC50W4の打ち方】

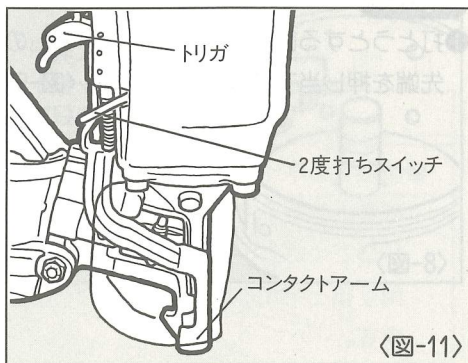
〈ネイルを自動送りで打つ場合〉

スイッチをON(下にする)にして御使用ください。 〈図-11〉

〈2度打ちをする場合〉

スイッチをOFF(上にする)にして、2度打ちをする釘以外の箇所にかけてください。釘が発射されず。

次に2度打ちしたい釘に射出口を合わせてトリガを引いてください。



### ①2度打ち後すぐ自動送りで打つ場合

スイッチをON(下にする)にして、釘の頭を射出口の中に入れ、トリガを引いてください。その後、釘は自動で送られます。

### ②2度打ちを連続的に行なう場合

スイッチはOFF(上にする)のままにすると釘は送られず、2度打ちができます。その後釘を送って釘を打つ場合は再びスイッチをON(下にする)にしてください。

## 【排気カバーの取付け方】

付属の排気カバーを取付けることにより、排気の一方向を当たらなくすることができます。排気カバーの方向は作業状況にあわせて、「前」「左」「右」に取付けてください。

### ⚠ 警告

- 排気カバーを取付けるときは、必ずエアホースをはずす。

### 「前」への取付け

#### 手順

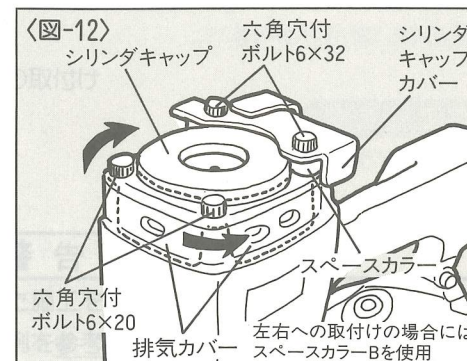
- ①シリンダキャップに付いている六角穴付ボルト(短い方)2本を六角棒スパナ(付属品)とトルクレンチ(付属品)を使ってはずし、図のように取付けます。

〈図-12〉

### 「左」「右」への取付け

#### 手順

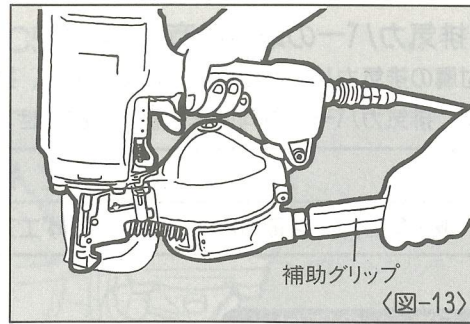
- ①シリンダキャップに付いている六角穴付ボルト(短い方)1本とシリンダキャップカバーに付いている六角穴付ボルト(長い方)1本とスペーススカラーを六角棒スパナとトルクレンチを使ってはずします。
- ②排気カバーを乗せ、付属品のスペーススカラーB(短い方)を乗せて六角ボルトを締め付けます。



### 【補助グリップの使い方】

本機には、釘打作業を容易にするため、補助グリップが付いています。特に作業台や垂直面での釘打作業に効果を発揮します。補助グリップは、マガジンにネジ込むだけで取付けられます。

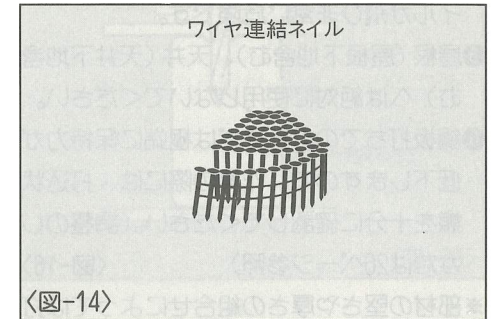
〈図-13〉



補助グリップ  
〈図-13〉

## 6 用途とネイル選定基準

本機はワイヤ連結ネイルが使用できます。また、主な用途には次のようなものがあります。打込対象物に合わせて適したネイルを選定してご使用ください。(使用ネイルは13ページ参照)



〈図-14〉

### ●主な用途

- 木造下地止め（木材と木材の接合）
- 窯業系サイディング張り
- 木材の軽量形鋼（厚さ2.3～3.2mm）への取付け
- 木材のコンクリートへの取付け

### 【鋼板用ネイルを使用するとき】

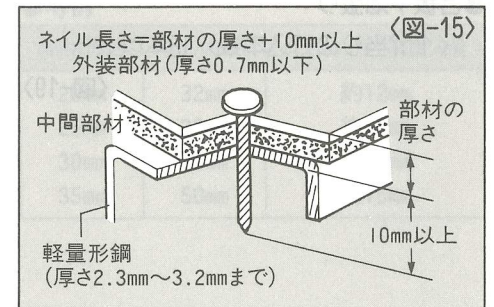
#### ⚠ 警告

- 施工については施工基準書にもとづいた施工を行う。
- 施工基準の指定のない場合は参考施工例を参考にする。
- 天井（天井下地含む）、屋根（屋根下地含む）へは絶対に使用しない。
- 必ず射出口先端を部材に直角に押し当てる。
- ネイル長さ38～50mmのネイルを直打ちに使用しない。

本機は2.3～3.2mm厚までの軽量形鋼専用です。ご使用のときは部材の状況や施工現場の条件を考慮し、施工基準書に準じてください。

- ① ネイルの長さは各部材の合計厚より10mm以上長いものを選んでください。
- ② 使用する軽量形鋼下地材は厚さ3.2mm以下、トタンなど外装部材は厚さ0.7mm以下にしてください。 〈図-15〉
- ③ ネイル長さ38～50mmのネイルを軽量形鋼に直打ちすると、ネイルが飛び非常に危険ですので絶対にしないでください。

ネイル長さ	部材厚さ(合計)範囲
32mm	1.8～22mm
38mm	10～27mm
45mm	15～30mm
50mm	15～38mm



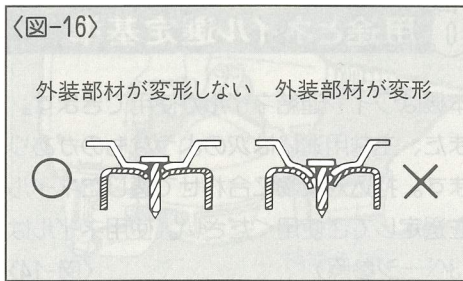


④必ず射出口先端を部材に直角に押し当てて使用してください。斜めに当てるとネイルが飛び非常に危険です。

⑤屋根（屋根下地含む）、天井（天井下地含む）へは絶対に使用しないでください。

⑥鋼板打ちでの打込すぎは極端に保持力が低下しますので、作業の際には、打込状態を十分に確認してください。（調整のしかたは26ページ参照）

※部材の堅さや厚さの組合せによっては打込めない場合があります。

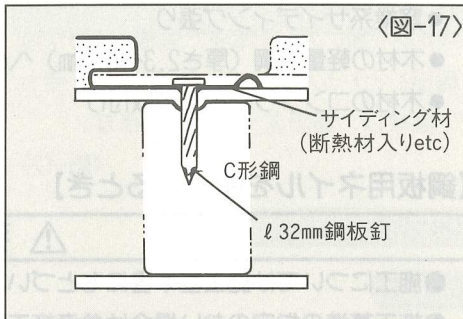


**参考施工例**

●金属サイディング張り

〈1㎡当りの打込本数〉18本以上

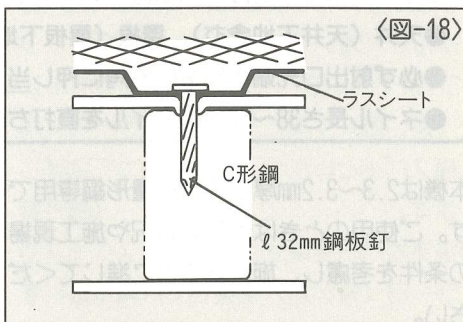
\*サイディング材の種類により異なります。



●ラスシートの仮止め

〈1㎡当りの打込本数〉16本以上

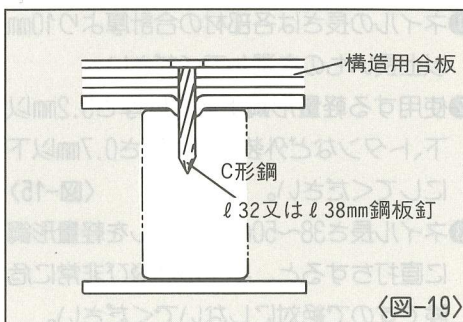
〈図-18〉



●合板下地張り

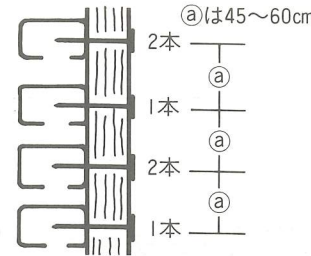
〈1㎡当りの打込本数〉13本以上

〈図-19〉



●内装胴ブチ止

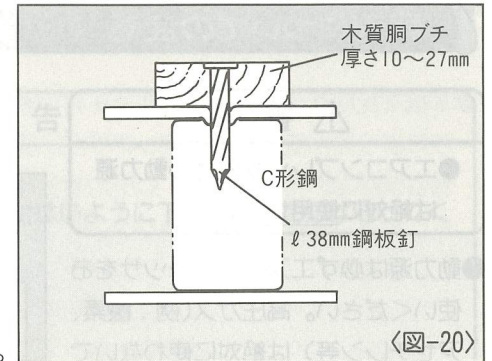
〈1㎡当りの打込本数〉16本以上※住宅の場合



1本の胴ブチに6本以上止めてください。（胴ブチ下側は必ず床に接していること）

〈図-20〉

※3.2mm厚C形鋼には、足長さ32mm、38mmをご使用ください。



〈図-20〉

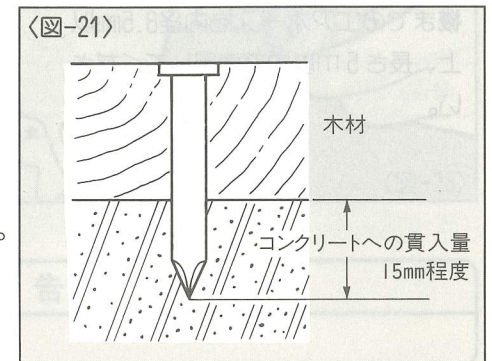
【コンクリートネイルを使用するとき】

本機は打設後まもないコンクリート専用です。ご使用のときは部材の状況や施工現場の条件を考慮し、施工基準書に準じてください。

●ネイルの長さはコンクリートへの貫入量が15mm程度になるよう選定してください。

〈図-21〉

※コンクリートの貫入量が20mmより深い場合やコンクリートが硬い場合、十分に打込めないことがあります。



参考例

部材厚さ	ネイル長さ	コンクリートへの貫入量
20mm	32mm	約12mm
25mm	38mm	約13mm
30mm	45mm	約15mm
35mm	50mm	約15mm

## 7

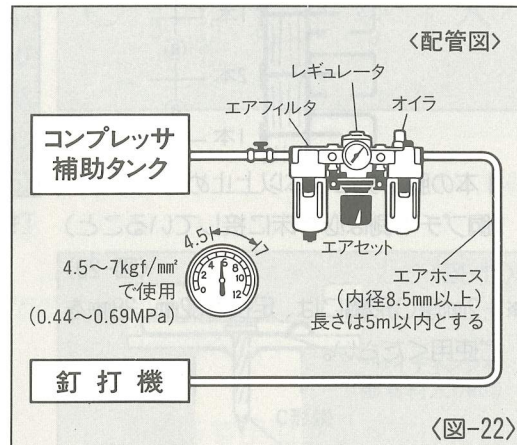
## 配管についての注意

## ⚠ 警告

- エアコンプレッサ以外の動力源は絶対に使用しない。

- ①動力源は必ずエアコンプレッサをお使いください。高圧ガス(例：酸素、アセチレン等)は絶対に使わないでください。
- ②エアセットはできるだけ本機1台に1セット取付けるようにしてください。
- ③エアホースは内径8.5mm以上、長さ30m以内で使用してください。エアセット使用時は、エアセットから釘打機までのエアホースを内径8.5mm以上、長さ5m以内で使用してください。

〈図-22〉



## 8

## エアホースの接続

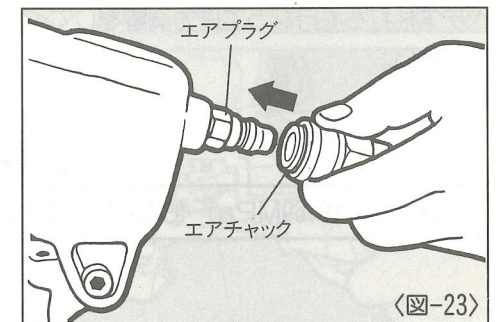
## ⚠ 警告

- エアホース接続の時は必ず厳守する。  
エアホースを接続する時は誤って作動させないように下記のことを必ず守ってください。
- 1.トリガに指をかけない。
  - 2.コンタクトアームに触れない。
  - 3.コンタクトアームを押し上げた状態にしない。
  - 4.射出口を人体に向けない。

## 手順

- ①エアプラグにエアホースのエアチャックを接続します。

〈図-23〉



## ⚠ 警告

- 作業中断時は必ずエアホースをはずす。

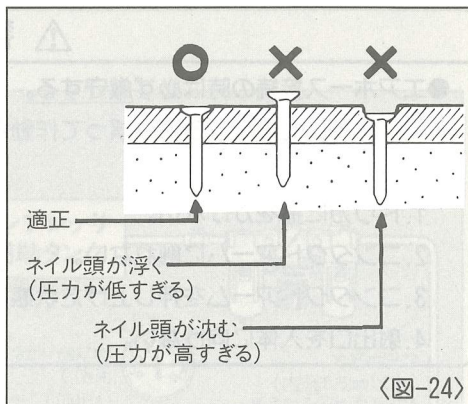


## 9 使用空気圧と打込状態の確認

●本機を使用する場合、打込対象部材の硬さにより使用空気圧を設定しますが、通常は6kgf/cm<sup>2</sup> (0.59MPa) に圧力をセットします。作業中ネイル頭が浮いたり、沈みすぎたりした場合は、エアセットのレギュレータでネイル頭が打込対象部材に対し面一になるように圧力調整してください。

〈図-24〉

●打込対象物の硬軟、使用するネイルの長短で多少圧力がちがいますので作業前にテスト打ちを行なって圧力調整をしてください。



〈図-24〉

### ⚠ 警告

●7kgf/cm<sup>2</sup> (0.69MPa) を超えた圧力では絶対に使用しない。

## 10 ネイルづまりの直し方

### ⚠ 警告

●ネイルづまりを直す時はエアホースをはずす。

### 手順

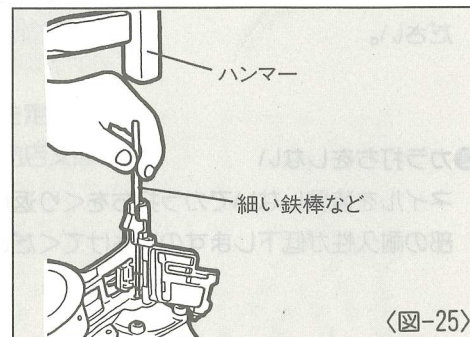
- ①エアホースをはずします。
- ②ネイルをマガジン内より抜き取ります。
- ③ドアを開き、射出口より細い鉄棒を入れ、ハンマーでたたきます。

〈図-25〉

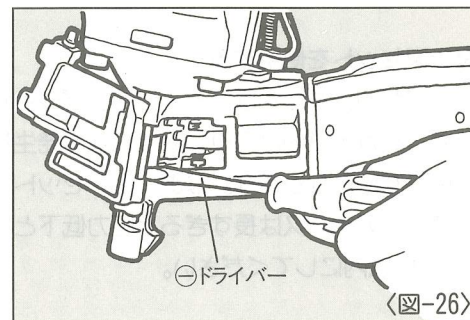
- ④ノーズ内部につまったネイルを細い鉄棒や⊖ドライバーで取り除きます。

〈図-26〉

- ⑤ネイルを送り爪に再度確実にセットして、ドアを閉じます。



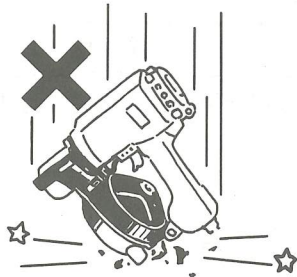
〈図-25〉



〈図-26〉

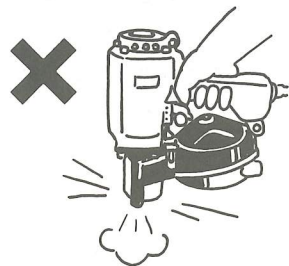
## ①本機を大切に使う

落したり、ぶつかけたり、叩いたりしますと、変形、亀裂や破損を生じる場合があります。危険ですから絶対に落したり、ぶつかけたり、叩いたりしないでください。



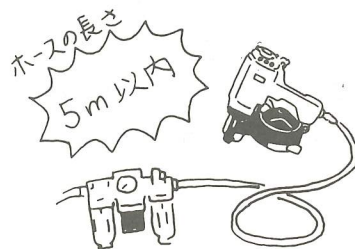
## ②カラ打ちをしない

ネイルを装填しないでカラ打ちをくり返し行くと各部の耐久性が低下しますのでさけてください。



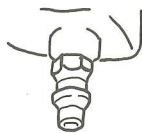
## ③エアセットを使用する

エアセットを使わないとエアコンプレッサ内の水分やゴミが本機内に入り、錆や摩耗が発生して作動不良の原因になります。なお、エアセットから本機までのエアホースは長すぎると圧力低下となりますので5m以内にしてください。



## ④本機の水抜きをする

作業終了時エアプラグを下に向け十分水抜きしてください。



## ⑤指定オイルを注油する

オイルはタービン油1種ISO VG32 (JIS1号90番)を必ずお使いください。使用前使用後にエアプラグの口より2~3滴注油してください。指定外のオイルを使用しますと、能力低下や故障の原因となります。



## ⑥エアコンプレッサのタンク、補助タンク、エアセットのエアフィルタの水抜きをする

エアコンプレッサのタンク、補助タンク、エアセットのエアフィルタに水がたまりと能力低下や故障の原因となりますので定期的に水抜きをしてください。



## ⑦定期的に点検する

本機の性能を維持するために清掃、点検を定期的に行ってください。点検はお買い求めの販売店又はマックスサービス㈱にお申しつけください。

## 12 カラ打ち時の確認事項

作業中に本機は作動するがネイルが実際に打ち込まれない場合には、下記の事を点検してください。

- ①ネイルが送り爪にきちんとセットされているか。
- ②送り爪が作動しているかどうか。

※作動していない場合は、エアプラグから2~3滴注油してください。

- ③ネイルがマガジン内でからまっていないか。
- ④ネイルサポートの高さがネイルの長さに合わせて適正に調整されているか。

上記①②③④を確認してもカラ打ちが直らない場合には、お買い求めの販売店またはマックスサービス㈱に点検・修理に出してください。